

2007 年度

科目名 文化財科学実習Ⅱ	対象学科・学年 文学部文財3回生	担当者 三辻 利一
授業テーマ		
授業の概要と目標 土器の産地問題を理解する上に必要な自然科学（岩石、鉱物、原子・分子、原子構造、粘土、土器、胎土分析の方法、蛍光X線分析、判別分析など）を理解することを目標とする		
評価方法 自習結果をレポートとして提出。レポートと出席日数で評価		
テキスト ナシ	著者	出版社
参考書 授業のとき紹介する	著者	出版社
授業スケジュール・内容 第1回 粘土について 第2回 土器について 第3回 土器の形式論と材質論 第3回 土器胎土について 第4回 土器を分析する 第5回 原子とは 第6回 X線の発見 第7回 ボーアの原子模型 第8回 蛍光X線の発生の原理 第9回 土器の蛍光X線スペクトル 第10回 土器の定量分析 第11回 集団をまとめて理解する方法（平均値と標準偏差） 第12回 二つの集団（窯）の相互識別 第13回 2群間判別分析 第14回 須恵器の産地を推定する 第15回 古代・中世土器の産地問題		